

さぬき市教育振興基本計画策定委員会（第2回） 会議要旨

- 1 日時 令和4年10月18日（火） 18:30～20:05
 2 場所 寒川第2庁舎 203会議室
 3 出席者 【委員】細川昌宏 山下美穂 三好成其 土佐清二 松木正美
 大山 強 杉山智志 七條正典 三井重彰
 【事務局】和田教育長 谷教育部長 安倍教育総務課長
 高西学校教育課長 細川生涯学習課長 中川幼保こども園課長
 山田人権推進課長 多田教育総務課課長補佐

欠席者 大高哲也

傍聴者 なし

- 4 議題 ○さぬき市教育振興基本計画（案）について
 ○その他

5 会議の内容

発言者	意見概要
教育総務課長	御案内の時刻となりましたので、ただ今から、第2回さぬき市教育振興基本計画策定委員会を開会します。
委員長	はじめに、七條委員長、御挨拶をお願いします。
教育長	（委員長挨拶） 続きまして、さぬき市教育委員会和田教育長から御挨拶を申し上げます。
委員長	（教育長挨拶） それでは、議事に入ります。
委員長	ここからの進行については、さぬき市教育振興基本計画策定委員会設置要綱第5条の規定に基づき、七條委員長の方でよろしくお願いします。
教育総務課長	それでは、本日の会議の傍聴について、事務局から報告をお願いします。
委員長	会議の始まる時刻までに傍聴人はいません。
委員	傍聴人がないということですが、会議中に傍聴があれば許可することで、御異議ありませんか。
委員長	異議なし
委員	異議なしということですので、傍聴を許可します。次に、会議の議事録の作成について、事務局に一任してよろしいかお諮りします。
委員長	異議なし
教育総務課長	それでは、「さぬき市教育振興基本計画（案）について」を議題とします。 まずは、事務局から全体的な説明をお願いします。 先に資料の確認をさせていただきます。A4サイズ両面の骨子案1部、A3の新旧対照表1部となります。資料は、事前に配布させていただきましたが、この骨子案につきましては、事務局内の各課において、骨子案の元となるものをそれぞれ作成し、それらを取りまとめたものとなります。令和5年度から4年間の計画となるため、現行の計画から修正が必要なもの、新たに加えるべきもの、あるいは、変更となるものを反映しています。 なお、前回の会議で説明させていただきましたが、「さぬき市教育大綱」は、現行のまま引き継ぎます。また、現行の振興計画を策定する際に、施策の体系については、さぬき市総合計画と整合性をとりながら、整理していますので、大きな変更はないと考えています。

委員長	<p>確認として、参考までに新旧対照表を配布させていただきました。現行の計画から変更している項目などは、赤字で表記しています。新たな項目の追加や修正等については、こちらの新旧対照表を見ていただければと思います。</p> <p>なお、本日の会議では、主に、5ページからの骨子案について御意見等をいただきたいと考えています。</p>
委員長	<p>では、今回の骨子案は、事前に委員の皆様には配布されているということですので、先に目を通していただいているという前提で進めさせていただき、最初に事務局から網羅的に詳細な説明を求めるということはせずに、委員の皆さんが事前に御覧になっての意見を御発言いただくこととして、分かりにくい箇所等については、その都度、皆さんから質問を受け、事務局に説明を求めるという形で進行させていただきたいと思います。</p> <p>それでは、早速ですが、それぞれの方針ごとに皆さんから御意見、御質問等を御発言いただきたいと思います。</p>
委員	<p>まず「方針1 生涯にわたって学び、しなやかに「生き抜く力」を持つひとづくり」に係る主要な施策について、骨子案を御覧になっての御意見、どなたからでもよろしくお願ひします。</p>
委員	<p>13ページ、部活動の地域移行の段階的な実施についてですが、令和5年度から令和7年度までの間でアンケート調査の実施、検討協議会を開催とありますが、現在、さぬき市においては、どういった状況ですか。</p>
学校教育課長	<p>スポーツ庁から令和7年度末までに休日の部活動を地域へ移行するよう提言がありますが、さぬき市では、今年度は吹奏楽部について、モデル的に地域移行の取組をしています。今後は、その取組を通して、課題を洗い出したいと考えています。また、教員や保護者、生徒にアンケートをとって、その後に、検討協議会を設置し、具体的に進めていきたいと思っています。指導者の確保、活動場所、移手段、誰がとりまとめるのか、たくさんの課題がありますが、現在のところ具体的な対策は、見い出せていないのが現状です。</p>
委員	<p>内容が充実する部活動、生徒も先生も納得する部活動、地域の人が活躍できる部活動となるよう、地域移行については、もう少しスピード感を持って取り組んでほしいと思います。</p>
委員長	<p>計画としては、3か年の間でアンケートをとり、最終的には、令和8年度まで地域移行をする計画になっています。もう少し、早く取り組んでもらいたいという意見がでましたので、検討していただきたいと思います。</p>
教育長	<p>最大の課題は、指導者の確保と経費の2つが大きな問題であると考えています。部活動の地域移行については、少子化により部活動の運営が難しい、部活動を指導する教職員への負担が大きい、といった理由から始まりましたが、さぬき市では、主な部活については、今のところ何とか3校それぞれで運営することができています。計画上は、令和6年度から開始し、令和8年度までの間で地域移行するようにしていますが、部活によっては、早い段階で移行できるものもあろうかと思っています。</p>
委員長	<p>一律に移行するというのではなく、部活によっては早い段階から移行できるものは、移行するという考えですね。文化部についても検討が必要ですね。</p>
委員	<p>8ページの外国語教育についてです。具体的な推進策で「英語検定料補助による学習意欲の向上」とありますが、実際のところ、補助することで学習の意欲は向上していますか。経済的な側面に対する補助だとは思いますが、実際はど</p>

委員	うですか。
委員	補助金を出すことで、受験者は増えていると思います。生徒の前向きな気持ちを後押ししていることは、確かです。
委員長	分かりました。
委員	外国語教育については、今回大きな項目としてとりあげていますので、教育委員会として重点を置いていることが分かります。
委員	外国語教育についてですが、検定料の補助があるのは、英語検定ですが、TOIECなどの他の受験に対する補助も検討していただきたいと思います。部活動の地域移行ですが、令和5年度から令和7年度までの3年間で教員や保護者、生徒からアンケートをとるようになっていますが、もう少し短くしてはどうでしょうか。
委員	6ページですが、学校訪問はどういった訪問でしょうか。ぬきうちの訪問でしょうか。行事として準備した学校訪問ではなく、普段の状況を見る訪問の日がありますか。訪問は、子ども達の普段の姿を見てほしいので、訪問の方法について考えてほしいと思います。
委員	先日、本校の教員から要望があり、ロイロを使ったユニークな授業を見ました。工夫を凝らした素晴らしい授業でした。もちろん指導案もありません。そういった授業を教育委員会だけではなく、管理職も見ると、学校内でも、いろいろと工夫して、授業の見学をしています。
委員長	タブレットを利用した授業ですね。ICTを活用した授業に平日頃から取り組んで、それを管理職が見て評価するということですね。
委員	学校訪問ですが、教育委員会が学校にくる訪問は、非日常です。指導案を書いて、指導案を元に授業を行います。でも、普段の授業では、指導案は書きません。ただ、非日常の授業をすることで、日常の授業が改善されます。特別な資料を作って授業をする学校訪問ですが、年に何度かは、教師もそういった努力をしないと日常の授業が改善しません。それだけに、教育委員会の実施する学校訪問は、重要です。
委員	9ページの就学前における質の高い教育・保育の提供のところですが、社会情勢に応じた発信とは具体的にどういった内容でしょうか。
委員	また、先ほどの訪問の件ですが、幼稚園も教育委員会の訪問があります。年に何回かの訪問ですが、保育者のレベルアップにつながっています。訪問は、幼稚園の現場においても意義あるものだと考えています。
幼保こども園 課長	「社会情勢に応じた情報発信」とは、SNSを含めた情報発信を意味しています。
委員長	情報発信の方法は、変化していますので、そういった言い方になってしまいますね。ただ、場合によっては、もう少し理解しやすい文言にしてはどうかという御意見でした。
委員	11ページの早期からの教育相談・支援体制構築事業の推進についてですが、具体的な推進策として、就学支援シートの作成と活用となっていますが、小学校でどの程度活用されているか、指標に表すことはできませんか。特別な支援が必要な子が増えている中で、保育者は、苦勞してシートを作成しています。せっかくシートを作成しても、小学校で活用されていなければ意味がありません。活用率のようなものが分かればありがたいです。
委員長	シートの活用については、幼稚園と小学校との関係ですが、小学校と中学校

委員	とのつながりはどうなっていますか。 小学校、中学校の連絡会では、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーをはじめ、様々な方が関わっています。生徒指導委員会の中にそういった専門の人達が関わって、うまく対応していると思います。
委員	小、中学校はかなり連絡会を行っています。子どもは、大きな希望を持って小学校から中学校へ進学します。そういう子どもの心を受け止めてあげるべきです。一方で幼稚園と小学校の連携は難しいです。低学年の時は、分かりにくいので、シートを活用することになっています。シートが重要な役割を果たしています。ただ、その活用の状況について、幼稚園の先生に還元できていないのが現状です。
委員	小学校での、人員配置はどうなっていますか。人員が不足している学級も見受けられます。就学支援シートを活用して、人員配置をしっかりとしてほしいです。
委員長	人員配置は重要ですね。
委員	人員の配置については、いろいろな事情があるので、一概に不足しているから、支援員を配置していないということではない場合もあります。
委員長	支援員の配置については、計画の10ページになりますが、シートを活用することで、必要な支援員の配置を検討し、うまく小学校へつなげていくことが重要です。そういった内容を具体化することも、大事ですね。 それでは、方針2に移らせていただきます。何か御意見がありましたらお願いします。
委員	19、20ページです。地域の歴史と伝統文化の伝承についてですが、具体的な推進策で、担い手育成支援とありますが、具体策はありますか。大川町には南川阿讃峽太鼓がありますが、人数が減っている中で何とか継続して運営していこうと努力されています。その団体に市は何か支援をしているのでしょうか。
生涯学習課長	文化財に指定されている団体に対して、支援を行っています。例えば、大川町の南川太鼓、筒野の虎獅子などがそれに当たります。南川阿讃峽太鼓は、文化財指定されていないので、支援が難しいのが現状です。
委員長	今後、検討が必要かもしれません。
委員	お遍路交流サロンの位置付けをどのように考えていますか。計画の中にお遍路交流サロンがでてきていません。さらに、文化協会という団体の名称は、計画にでてきますが、文化財保護協会はでてきません。計画の中に加えてほしいと思います。
生涯学習課長	お遍路交流サロンについては、具体的に計画に加えるようにします。
委員	文化財資料の保存と活用の推進のところ、国指定の大窪寺の遍路道も加えてほしいと思います。上がり三箇寺の遍路道全てを国指定にしたいということです。
生涯学習課長	国史跡の「讃岐遍路道」に「志度寺境内」が追加される予定であり、「長尾寺境内」についても追加指定に向けた調査研究がなされています。計画の中では、「札所寺院の国史跡指定」と記載しています。
委員	丁石についても国指定にしてほしいです。そして、最終的には、世界遺産の登録を目指してほしいです。
生涯学習課長	「四国遍路」の世界遺産登録に向け、まずは、その環境整備を進めていきた

委員長	いと考えています。 お遍路を文化財にという部分が計画の中に見えるといいと思います。難しいと思いますが、まずは、国指定を目指してほしいです。これは、ふるさと教育の一環でもありますね。
委員	前後しますが、ICTを活用した学校教育のところですが、具体的な推進策のひとつ、プログラミング教育の推進というのが気になります。具体的にはどうということですか。
委員長	プログラミング教育というのは、学校現場にとって、非常に難しい問題です。それを担える先生が少ない。ただ、国が方針を出しているのでも、市もやむを得ず計画に掲げるようになるのかなと思います。
委員	主として学校でする内容についてですが、プログラミング教育というのは、筋道を立てて、回路を作成していけば、こういう結果がでることを学ぶのが主なねらいです。つまり、プログラミング教育の目指すところは、論理的な考え方を学ぶということではないかと思います。
委員長	市として具体化していないので、検討という意味合いで文言修正が必要なのではないかと思います。学校現場とも相談いただいて、可能な範囲で検討いただきたいと思います。
教育長	検討します。
委員	方針2にもどって、21ページの文化財資料の保存と活用の推進のところ、文化財資料を保存する場所は早急に必要ではないかと思います。具体的な推進策では、4年間も保存施設について検討するようになっていますが、もっと早い対応をしてほしいです。また、文化財保護協会との連携もお願いします。
委員長	関係者と相談して、少しでも早く、1歩、2歩進めていけるようにしていただきたいですね。
委員	こども食堂はどのような位置づけですか。教育委員会は関係ないのでしょうか。
教育長	福祉の要素が強いです。教育委員会としては、現時点では、支援するなどの方向性は、未確定です。
委員	実際、利用している子はいますか。
委員	利用の実態は、不明です。地域の子どもが宿題をして帰るといったように、子どもの居場所づくりにもなるようですが、運営が大変だと思います。
委員長	高松市では、NPO法人が設置しているこども食堂が多いようです。地域ごとに運営しているので、その場所まで行くことができない子もいます。 現在のところ、市としての具体策はないようですが、今後検討していくことも必要かもしれません。
教育総務課長	25ページの北海道剣淵町との交流は、現在のところどうなっていますか。 コロナ禍においては、実際の行き来が困難となりましたので、令和2年度はビデオレター、令和3年度はオンライン交流を実施して、令和4年度もオンラインでの交流を予定しています。コロナが落ち着いたら、実際の交流をしたいと考えていますが、ホームステイではなく、公共施設を使った交流など、個人の負担を軽減するような交流を考えています。継続できる交流をしていきたいと思っています。
委員長	そういった中身の交流を具体的に計画の中に記載すれば、分かりやすいかもしれませんね。

委員長 委員	<p>では、続いて、方針3に移りたいと思います。</p> <p>29ページです。人権啓発活動の実施についてのところですが、啓発活動の具体的な方法を記載してほしいです。隣保館の記載がないようですが、隣保館の活用を教育委員会としてどう考えているのか。隣保館と連携すべきだと思うんですが。</p>
人権推進課長	<p>じんけんフェスタでの講演会の実施とありますが、多くの人に参加できるフェスタにするには、内容が大事。具体的な推進策として記載するとすれば、「じんけんフェスタの内容の工夫」とする方がいいのではないかと思います。</p> <p>じんけんフェスタについては、市長部局で進めています。隣保館の夏の集いや冬の集いとともに開催しています。啓発につながる工夫をしたいと考えています。</p>
委員 人権推進課長	<p>啓発の手段として広報やチラシなどの工夫をしてほしいです。</p> <p>計画については、教育委員会としての立場で記載していますので、その立場で再度考えます。</p>
委員長	<p>そういったことであれば、辛立文化センターを拠点として、辛立文化センターと連携してという文言を記載すればいいのかもしれないね。</p> <p>方針3については、私から修正のお願いがあります。</p>
委員	<p>32ページのいじめを許さない、いじめにいち早く気付く体制の構築の指標等についてですが、いじめの認知件数0とありますが、これは現状としてあり得ません。いじめを認知しなければ、対応できないので、指標として認知件数をゼロにすることの方が、問題となります。つまり、いじめを原因とする不登校や自殺をなくすこと、いじめが重篤化しないように対策をすることが重要となります。</p>
委員	<p>33ページのところです。指標等についての根拠はなんですか。また、不登校の問題ですが、さぬき市は過去5年間、県の数値を大きく上回っています。学校現場は、不登校が少しでも減るように努力しています。不登校が減らない原因は、どこにあるのか、教育委員会として分析していますか。ぜひ、分析をお願いしたい。</p>
教育長	<p>実際のところ、さぬき市だけでなく全国的に不登校は、増えています。不登校の理由も多様化しているので、単純な話ではないような気がします。相談活動を通じて、1件ずつ細かく対応する必要があります。不登校の児童が増えていることに伴って、適応指導教室に通う子ども達も増えてきています。不登校の児童が集う「居場所」を作る必要があると考えています。</p>
委員長	<p>不登校の場合、子ども達の気持ちを受け止めて、次につなげていくという形が理想であって、学校へ行くことが最終目的ではないと思います。学校の指導体制についても常に検討が必要です。</p>
委員	<p>まずは、県の実態とさぬき市の実態の乖離が大きいので、その原因を分析してください。</p>
委員	<p>中学校に毎日通って、その後高校に進学するという認識が変化しています。今の子ども達は、高校に行かなくてもサポート校のようなものもあります。ネットにも様々な情報があって、それを利用して自分の興味があることを勉強することもできます。学校に来なくても他に選択肢がたくさんある世の中に変化ってきています。そういった変化も不登校が増えていることにつながっているのかもしれないですね。</p>

<p>委員長</p> <p>教育総務課長</p> <p>委員長</p> <p>副委員</p> <p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、方針4については、次回の会議で審議することにしますので、次回も意見、質問等を出してもらって、会議を進めていきたいと思えます。</p> <p>次回の会議までに、お気づきの点や御意見等があるようでしたら、随時事務局の方へ連絡をいただければ、対応して下さるとのことなので、よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、その他としまして、次回の会議日程等について、事務局から説明をお願ひします。</p> <p>(次回の会議の日時及び会場について説明した。)</p> <p>それでは、閉会にあたりまして、副委員長から御挨拶をいただきます。</p> <p>(副委員長、閉会の挨拶)</p> <p>皆さま本日は、長時間ありがとうございました。</p>
---	---